

田辺元没後六十周年記念シンポジウム

オンライン会議

日付：2021年9月4-5日(一日半)

主催：田辺元記念哲学会・求真会

時間：日本時間

9月4日(土)

開会挨拶：12:50-13:00

基調講演：13:00-14:00

講演者：藤田正勝（京都大学・名誉教授）

「田辺元の「死の哲学」」

司会者：浜渦辰二（上智大学グリーンケア研究所・特任教授）

休憩：14:00-14:10

研究発表：14:10-15:30

発表者：竹花洋佑（福岡大学・准教授）

「田辺元の共同体論の可能性—現存しないものとの共同／協同をめぐる」

河合一樹（田辺元記念哲学会求真会・幹事）

「「種の論理」と近代の「家」—日本近世の「ウヂカバネ」の言説を踏まえて」

司会者：太田裕信（愛媛大学・准教授）

休憩：15:30-15:40

パネル：15:40-18:00(140分、一人15分)

共通テーマ：【田辺哲学の現代的意義——コロナ時代に向けて】

パネラー：出口康夫（京都大学・教授）

上原麻有子（京都大学・教授）

板橋勇仁（立正大学・教授）

張政遠（東京大学・准教授）

廖欽彬（広州・中山大学・准教授）

司会者：秋富克哉（京都工芸繊維大学・教授）

ウェブ飲み会：18:00-19:00（自由参加）

9月5日(日)

基調講演: 9:00-10:00

講演者: 嶺秀樹 (関西学院大学・名誉教授)

「田辺後期哲学の歴史主義」

司会者: 浅見洋 (西田幾多郎記念哲学館・館長)

休憩: 10:00-10:10

研究発表: 10:10-12:10

発表者: 鬼頭葉子 (同志社大学・准教授)

「田辺元における愛の三一性の構造—キリスト教神学の視点から」

浦井聡 (大谷大学・助教)

「倫理と論理—「種の論理」における合理化の意義」

郭旻錫 (京都大学大学院)

「植民地朝鮮と田辺元—朴鍾鴻と尾高朝雄を媒介にして」

司会者: 馬場智理 (放送大学・非常勤講師)

昼休み: 12:10-14:00

基調講演: 14:00-15:00

講演者: 牧野英二 (法政大学・名誉教授)

「田辺元と W・デイルタイにおける哲学的思索の「家族的類似性」 —『デイルタイ=ヨルク伯往復書簡集』とハイデガーの影響作用史再考」

司会者: 小倉紀蔵 (京都大学・教授)

休憩: 15:00-15:10

研究発表: 15:10-16:30

発表者: 植村玄輝 (岡山大学・准教授)

「フッサールの社会存在論—田辺の(潜在的な)競合相手としての」

織田和明 (大阪大学・特任研究員)

「田辺元の倒し方—絶対転換としての絶対無の空虚さをめぐって」

司会者: 飯嶋裕治 (九州大学・准教授)

休憩: 16:30-16:40

総合討議: 16:40-18:00

司会者: 直江清隆 (東北大学・教授)

コメンテーター: 小林敏明 (ライプツィヒ大学・名誉教授)

閉会挨拶: 18:00-18:10

ウェブ飲み会: 18:10-19:10 (自由参加)

※ 発表時間: 25 分、質疑応答: 15 分